

プリメイン アンプ

近年のデフレがオーディオ製品にも影響を及し、コストパフォーマンスが求められた結果、CDを聴くためなら「ノイズを嫌ってボディーをセパレートにする必要はない」という理由からか、高級（高額）プリメインアンプの新製品が目白押しです。おおよその感覚ですが、高級プリメインアンプの実力は、価格比で1.5倍程度のセパレートアンプに匹敵するのように感じます。種類も多くなり「選べる」プリメインアンプが狙い目です！

定価 500,000円
販売価格 399,000円

久々のLUXMAN A級アンプ。滑らかさがあり、音色感も良くリアルな音質なのに肌触りの良い音。L-509fSEでストレートサウンドを実現したLUXMANが更に飛躍しました。弦の滑らかさやボーカルの艶が非常に良く再現され、銘機L-570の色彩感、濃密度とL-509fSEのストレートさを併せ持った様なお薦めのアンプです。1号館「新試聴室」にてお試しいただけます。(仲嶋)

定価 660,000円
販売価格 498,000円

大きく重く価格も高価ですが、音も弩級。プリメインらしからぬ余裕感があり苦しい印象は皆無。広々とした空間に重量感、厚みのある音が何気なく飛び出します。重心の低さを感じさせる土台の安定したバスドラムやベース、緻密さと力強さのあるシンバルの音。勿論声などの主旋律となる部分も充実しており、少し前までDENONのアンプに感じていた微妙なドンシャリ調のイメージが払拭され堂々とした風格を醸し出しています。セパレートアンプを越えるプリメインアンプの登場です。(仲嶋)

TERA Cryo 販売価格 480,000円
TERA Cryo Limited 販売価格 580,000円

余分な音は一切出さず、そこにある音は全てをさらけ出す。そんな理想の音楽再生を追い求めたどり着いた1つの結果。AIRBOWのリファレンスたる所以はその卓越した音楽表現力。この薄くて軽いボディからどうしてこんな音が出るのかと想像の情報量と実在感で音楽の持つ魅力をひひしと実感させてくれます。特別仕様のTERAcryoLimitedではさらに体を包む空間までもが艶を放ち、言葉にならない感覚を覚える事でしょう。(仲嶋)

定価 150,000円/販売価格 120,000円
真空管をムラード製に交換したもの 130,000円

非常にリアルなはっきりとした感覚の音を表現してくれ、レンジがどうのこのの情報量がどうのこのとかの事よりこのアンプで音楽を聞いていてまず言えるのはすごく楽しく、また、すごく音楽の悲しさをも良く伝えてくれるアンプです。今までハイブリッドアンプといっても音にきつさが残るハイ上がり音のアンプが多く、うまく真空管の良さを活かしていないモデルが多かったのですが、このアンプは真空管の良さとトランジスターの良さを本当にうまく調和させたモデルです。デザインも非常にシンプルで心から音楽に没頭出来ます。真空管をムラード製のものに換えたモデルは価格が若干高くなりますが更にこのアンプの良さを引き出してくれます。(高橋)

LUXMAN

L-550A

定価 280,000円

販売価格 224,000円



LUXMAN A級アンプ復活の第2弾。このコメントを書いている時点でもまだ製品が間に合っていないませんが、先行発売の上級機L-590Aの出来映えが素晴らしいので、否が応にも期待は高まります。今アンプの買い換えをお考えのかたには是非L-550Aも候補の1つにお考え下さい。(仲嶋)

①SONUS FABER MUSICA



定価 550,000円
販売価格 306,000円

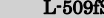
フロントパネルはリアルウッドとなっており、スイッチは電源のON/OFF、ボリューム、セレクターの3つのみで非常にシンプル。しかしその音質は色彩感に富みニュアンス豊かなな生々しいもの。バイオリンやボーカルの艶はもちろんロックやジャズなどのノリと歯切れの良い音楽もスッキリ再現。生産完了につき残りわずか。お急ぎ下さい。(仲嶋)

①LUXMAN

L-509fSE

定価 550,000円

販売価格 428,000円



LUXMANのプリメインアンプで最もシャープな音質。ややリズリッドに感じられる所もありますが、骨格がしっかりしており切れ込みの良い音質です。暖味さのない明晰な音質はバスドラムやペーセスラインの動きが分かり易く、微細な音も逃しません。音楽のジャンルを選ぶ事もあまりなくお薦め出来るアンプです。(仲嶋)



①marantz

PM-11S1

定価 350,000円
販売価格 275,000円

色彩の豊かさと階調表現の滑らかさが深みのある音楽表現を生み出し、すくなく自然に耳に届きます。しなやかに且つ伸びやかに音が広がり、やがて空間に溶け込んでいく様子はなんとも心地よい穏やかな気分にさせてくれます。お薦めの1台です。(仲嶋)



marantz

PM-15S1

定価 150,000円

販売価格 118,000円

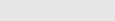
穏やかで馴染みの良い自然な音質が特徴の最近のMARANTZにあって、元気の良いハッキリとした音質となっています。躍動感のあるノリの良さが変に考えさせずに音楽を楽しませてくれます。パンチの効いた所もあり若々しいPOPSやROCKなど、特に楽しめるのではないのでしょうか。よりシャープな印象のシルバモデルも追加。(仲嶋)

marantz

PM8001

定価 80,000円

販売価格 64,000円



AIRBOWのベースモデルとなっているmarantz エントリーモデルの最高機種、PM8100シリーズの新ラインナップが2005年12月に登場。
「無駄」を省いたこのクラスの製品ならではのストレートでハイセンスなサウンドとスタイリッシュな外観。音楽を聴くという嗜好を満たしてください。



marantz

PM4001

定価 28,000円

販売価格 22,400円

PM8100シリーズに続いて、実力派エントリーモデルのPM4400も新しく生まれ変わりました。新回路と新パーツ、そして一新されたスタイリッシュな外観が、新世代のサウンドを予感させます。寝室や、パーソナルルームなどのセカンドシステムとしてもお薦めです。



① ● **AIRBOW**
LUNA/CRYO



販売価格 290,000円

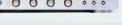
中音域に艶やかさを保ちながら音の立ち上がり、立ち下がり早く音楽の陰影感をよく出てくれます。クラシック、ジャズ等のジャンルの選ばず演奏者の意図する表現を十分に伝え、外観のコンパクトさからは想像できないスケール感のある音楽を再現します。重たいアンプが音が良い、ワット数が多いアンプが音が良い、大きいアンプが音が良いといわれる常識をうち破った優れた製品です。(高橋)

**① ● AIRBOW
LITTLE PLANET 2**

販売価格 165,000円



AIRBOWモデルの中でも一番小さく、デザイン性に優れたLITTLE PLANET2。外観からはまず想像出来ないリアルな熱い音質の本格派。細かいニュアンスや生のアタック感がよく表現され、いつも音楽の素晴らしいさと楽器の偉大さを伝えてくれます。(須川)



① ●AIRBOW
PM8100SA/KAI3

販売価格 118,000円

特に音楽の立ち上がり^①を重要視して音づくりがなされているため、価格からは考えられない音楽の表情、陰影感を実現してくれます。ボーカルでもその表情がすべて響かずに出てきますので次々と持っている音楽ソフトを聞きたくなる逸品館ならではの音づくりをしているホンににお勧めのアンプです。

電源コードをグレードアップさせアクセサリ類などを音を決めていくとどんどんその良さに反応を示してくれます。(高橋)

① ● **AIRBOW**
PM6100SA/KA13

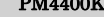


販売価格 78,000円

AIRBOWではエントリーククラスのアンプですが、その表現力は既にエントリーククラスとひとたもではなくなやかさ、潤い感、反応の良さなどを持っており、音楽を深く聴く事が出来るという意味ではこれで充分ではないかと思われる程。色々試み換えもしてみたいがいアンプに巡り会えないとお感じの方には是非聴いていただきたいアンプです。(仲嶋)

①●AIRBOW PM4400KAI

販売価格 48,000円



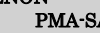
LITTLE COSMOSでお馴染みのPM4400KAI。
無駄な音が一切無音の持つ艶やかさを素直に
表現してくれる、低価格で本当にお薦めできるアンプ
です。IMAGE11KAIと組み合わせるといっそう生き
生きとした音色で、皆様のMUSIC LIFEをクワイ
ェイトします。(須川)

①DENON

PMA-SA11

定価 360,000円

販売価格 272,000円



久しぶりでにでたDENONの本格ブリメインアンプ。音に厚みと重層感を感じさせ重心の低いドッシリとした音質で、スケール感があふ迫力のある音楽再生が出来ます。また、音色も良く若くふくよかさは感じさせるものや味のいいならずゆつとりと音楽を楽しむ特に高音域にさらさらさめをめる方には最適なアンプで高級ブリメインと呼ぶに相応しいサウンドとなっています。お薦めの1台です。(高橋)

① ● AIRBOW

CR-L600KAI

販売価格 68,000円



コンパクトなボディにCDとアンプとチューナーを収めただけで飽きたらず、音まで良くしてしまうとは人間って贅沢な生き物ですね? ここで耳寄り情報一つ。チューナーを無放送チャネルに合わせると「ザッ」ってノイズが発生しますよね?これを片チャンネルずつ鳴らしてスピーカーの位置調整が出来るんです。ノイズによる位置調整の方法は弊社HPをご覧ください。(松田)